

仲風の魅力を語る国指定重要無形文化財琉球古典音楽保持者（人間国宝）の照喜名朝一さん（左から2人目）＝6月23日、豊見城市のFMとよみスタジオ



F Mとよみ「琉球歴史探訪」

# 「仲風」の魅力語る

2010 (7) 21 新報

人間国宝の  
照喜名さん  
歌碑の重要性も強調

【豊見城】FMとよみした上で「沖縄には何万が毎週水曜と、日曜日という琉歌が残されてい放送する番組「琉球歴史探訪」に6月23日、国指定重要無形文化財琉球古典音楽保持者（人間国宝）の照喜名朝一さん（78）が出演し、平敷屋朝敏が詠んだとされ、琉球古典芸能にも用いられている仲風の魅力を語った。

照喜名さんは琉球古典芸能の継承には仲風など琉歌を守る視点が大切と

【豊見城】FMとよみした上で「沖縄には何万が毎週水曜と、日曜日という琉歌が残されてい放送する番組「琉球歴史探訪」に6月23日、国指定重要無形文化財琉球古典音楽保持者（人間国宝）の照喜名朝一さん（78）が出演し、平敷屋朝敏が詠んだとされ、琉球古典芸能にも用いられている仲風の魅力を語った。

照喜名さんは琉球古典芸能の継承には仲風など琉歌を守る視点が大切と

「人はいずれ亡くなるが、歌碑はずっと残っていく」と照喜名さん。赤嶺さんは「平敷屋朝敏とゆかりのある豊見城市から仲風の創作作品を募集し、愛好者を増やしたい」と夢を語った。